

令和7年7月10日

都道府県教育委員会教育長 様  
区市町村教育委員会教育長 様  
小学校・中学校・義務教育学校・  
中等教育学校・特別支援学校・  
高等学校の校長 様  
英語担当指導主事 様  
外国語活動・外国語・  
英語科担当者 様

全国英語教育研究団体連合会（全英連）  
会 長 石田 健司  
（東京都立小金井北高等学校長）  
全国英語教育研究会大会和歌山大会実行委員会  
委員長 林 和哉  
（和歌山県立星林高等学校長）

## 第75回全国英語教育研究団体連合会総会・全国英語教育研究大会（全英連和歌山大会）開催要項

兼第63回近畿公立中学校英語教育研究会連絡協議会和歌山大会

このたび、標記総会及び研究大会を下記要領により、ここ和歌山の地にて43年ぶりに開催いたしますのでご案内申し上げます。本大会開催にあたり、関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。

グローバル化と急速な情報化が進む中、小中高の児童、生徒たちに求められる英語力も大きく変容しています。知識の習得にとどまらず、他者とながら、共に学び合う力を育む教育が、今まさに求められています。

本大会では、「学びのWAをつなぐ英語教育—新しい時代を主体的に生き抜くLifelong Learnersの育成を目指して」をテーマに掲げ、挑戦と可能性に満ちた新たなフェーズに差しかかった英語教育の在り方を全国の皆さまと共に探究したいと願っています。全国各地からのご参加を心よりお待ちしております。

### 記

#### 1 開催関係団体

主 催 全国英語教育研究団体連合会（全英連）  
後 援 文部科学省、和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会  
大会運営 全英連和歌山大会実行委員会

#### 2 目 的

「学びのWAをつなぐ英語教育

—新しい時代を主体的に生き抜くLifelong Learnersの育成を目指して」

学びとつながりの中で育まれる、新しい時代に求められる力を涵養すべく、本大会では、本県の英語教育の英知を背景に、『学びのWA』というスローガンに基づき、**和**（調和、和歌山）、**輪**（連携）、**話**（対話）を通じた英語教育の在り方を探ります。小・中・高を通じた英語教育を、単なる言語スキル習得の枠を超え、主体的に未来を切り拓くLifelong Learners—「生涯にわたって学び続ける人材」の育成に結びつける新たな視座を提示しつつ、本県および近畿各地の教育現場からの実践事例や議論を通じて、英語教育の進化を共に考える場といたします。

3 期 日 令和7年11月14日（金）・15日（土）

4 会 場 【第1日 11月14日（金）】和歌山県民文化会館 大ホール  
【第2日 11月15日（土）】和歌山県立向陽中学校・高等学校

#### 5 日 程

第1日 11月14日（金） 会場：和歌山県民文化会館 大ホール

9:00～ 9:30 受付

9:30～10:45 総会

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 祝辞
4. 来賓紹介
5. 会務報告
6. 感謝状贈呈
7. 閉会の辞

10:55～12:25 基調講演

演題：「学びのWAをつなぐ英語教育—「ことば」と「こころ」が離れない授業を目指して」

講師：大阪教育大学 多文化教育系 教授 加賀田 哲也 氏

12:25～13:55 昼食・業者展示

13:55～14:45 小学校 実演授業 (45分) (動画発表)

発表者 和歌山市立岡崎小学校 教諭 横矢 晴美

指導助言者 関西外国語大学 教授 直山 木綿子 氏

15:00～15:55 中学校 実演授業 (50分) (舞台発表)

発表者 みなべ町立南部中学校 教諭 虎伏 泰資

指導助言者 和歌山市立紀之川中学校 校長 前和歌山大学 准教授 植西 仁美 氏

16:10～17:05 高等学校 実演授業 (50分) (動画発表)

発表者 和歌山県立耐久高等学校 教諭 岩崎 祐矢

指導助言者 大阪教育大学 教授 加賀田 哲也 氏

18:30～20:30 懇親会 (会場：ダイワロイネットホテル和歌山)

第2日 11月15日(土) 会場：和歌山県立向陽中学校・高等学校

\*9:00～9:30 受付 9:30～11:00 (90分) 分科会第1部 11:25～12:55 (90分) 分科会第2部

\*分科会資料については大会当日お示しする QR コードからウェブ上で配布します。スマートフォン、タブレットなどのデバイスをご持参ください。

\*分科会参加希望者数により、ご希望に添えない場合があります。

【 9:30～11:00 分科会第1部 分科会番号1～13】

番号	校種	テーマ	発表者	所属	指導助言者
1	小学校	<b>【小学校授業提案】</b> 小中の円滑な接続を目指した外国語教育 —音から文字への指導と海外との交流を通して	横矢 晴美	和歌山市立岡崎小学校	直山木綿子 関西外国語大学
2		Small Talkを中心とした方略的能力の育成 —他者意識をもってコミュニケーションを図る資質・能力の効果的な指導を目指して	森川 英美	和歌山市立藤戸台小学校	尾上 利美 和歌山大学
3	中学校	生成AIの活用によるアウトプット力の改善—1st speaking→ Writing→2nd speakingのサイクルを柱として	高橋 健太	和歌山県立向陽中学校	向後 秀明 敬愛大学
4		教科書の世界と生徒の日常をつなぐ—思考力・判断力・表現力を育む、 生徒の主体性を引き出すリーディング指導	山本 展生	和歌山市立紀伊中学校	菅 正隆 大阪城南女子短期大学 大阪総合保育大学短期大学部
5		生徒が主役になれる、生徒の主体性を育む授業デザイン法	徳山尚太郎	橋本市立高野口中学校	瀧沢 広人 岐阜大学
6		インクルーシブな英語授業の設計と実践 —多様な学習ニーズに応える教材と活動の工夫	辻 彩香	白浜町立日置中学校	村上加代子 武庫川女子大学
7	高等学校	<b>【高等学校授業提案】</b> 競争から共創へ—持続的ウェルビーイングを追求する授業経営	岩崎 祐矢	和歌山県立耐久高等学校	加賀田哲也 大阪教育大学
8		自律した英語学習者を目指した「主体的で対話的で深い学び」の フレームワーク	松山 知紘	大阪府立大手前高等学校	小橋 雅彦 ノートルダム清心女子大学
9		教科書本文の映像化—自律的な学習者の育成を目指して	山田 一騎	和歌山県立桐蔭高等学校	溝畑 保之 桃山学院教育大学
10		"Collaborating with AI to Enhance English Learning in Japanese High Schools" 「高校英語教師はAIとどのように協働、 生徒の学びを深められるか」	加藤 統久	和歌山県立橋本高等学校	山下 朋美 立命館大学
11		英語コミュニケーションや論理・表現の授業づくりと評価 —文法構文基礎力と主体的・対話的で深い学びを実現する授業の 試み	森田 琢也	うつほの杜学園小学校 (前大阪教育大学附属高等学校池田校舎)	麻生 雄治 大分大学
12		音読習慣からアウトプット能力の向上を図る	山田 真依	和歌山県立海南高等学校	今井 裕之 関西大学
13		専門高校における英語教育の多面的展開—主体的な言語活動を 中心とした授業構成の取り組み	瓜生万美子	兵庫県立姫路商業高等学校	前田 昌寛 金沢星稜大学

【11:25～12:55 分科会第2部 分科会番号14～26】

番号	校種	テーマ	発表者	所属	指導助言者	備考
14	小学校	学びたい心と教える喜びがつながる輪 ―児童と指導者を支える持続可能な指導法	城戸 知樹	田辺市立新庄小学校	直山木綿子 関西外国語大学	和歌山県
15		コミュニケーションの必然性を生み出す教科横断的な授業づくり	中岡 正年	和歌山大学教育学部附属小学校	尾上 利美 和歌山大学	和歌山県
16	中学校	【中学校授業提案】 論理的、批判的思考を高める指導 ―瞬発的に対応できる生徒の育成をめざして	虎伏 泰資	みなべ町立南部中学校	植西 仁美 和歌山市立紀之川中学校	和歌山県
17		パフォーマンステストで見える学び ―指導と評価の一体化を目指して	大野 傑	和歌山市立東中学校	菅 正隆 大阪城南女子短期大学 大阪総合保育大学短期大学部	和歌山県
18		ライティングスキルを伸ばすための具体的な活動	谷口 莉佳子	橋本市立高野口中学校	小橋 雅彦 ノートルダム清心女子大学	和歌山県
19		学習指導要領の趣旨を踏まえた英語科における学び合い学習の実践事例 ―校長の示範授業から	戸川 定昭	和歌山県立海南高等学校 (前和歌山市立河北中学校)	瀧沢 広人 岐阜大学	和歌山県
20	高等学校	EFLの授業におけるMeaningful CommunicationとCollaborative Learningの創出	三龍 直子	和歌山県立向陽高等学校	向後 秀明 敬愛大学	和歌山県
21		AIを活用したスピーキング指導	南部 久貴	滋賀県立彦根東高等学校	金丸 敏幸 京都大学	滋賀県
22		生徒の主体性を高めるために ―昨日までの自分を超越したくなるような自己内省の取り組み	小川 茜	和歌山県立新宮高等学校	前田 昌寛 金沢星稜大学	和歌山県
23		「話すこと」の力を伸ばすための授業実践とパフォーマンス評価 ―持続性をキーワードに	松山 貴裕	和歌山県立桐蔭高等学校	麻生 雄治 大分大学	和歌山県
24		教科書のテーマから概念形成を目的とした英語授業の実践	山本 英樹	奈良県立奈良高等学校	溝畑 保之 桃山学院教育大学	奈良県
25		生徒の自己調整力を伸ばし、主体的に学習に取り組む態度につなげる生成AIを活用した表現活動について	榎本三紀子	和歌山県立熊野高等学校	山下 朋美 立命館大学	和歌山県
26		リテリングを用いたスピーキング指導	山田 大将	和歌山県立田辺高等学校	今井 裕之 関西大学	和歌山県

6 全国理事会（大会前日）日時：令和7年11月13日（木）14:30～16:00

会場：和歌山県民文化会館 3階 特別会議室

7 会 費

参加費 一般参加者 6,000円、小学校教員 3,000円、学生参加者 2,000円

昼食 弁当・お茶 1,400円 [14日(金)のみ]

\*参加費、昼食、懇親会費につきましては、事前振り込みをお願いします。

8 懇 親 会

参加者の皆様と記念講演者、指導助言者、授業実践者、分科会発表者の皆様が気軽に懇談や情報交換できる場にしたいと考えます。ぜひご参加ください。参加希望の方は後述のウェブサイトからお申込みください。

日時：第1日 11月14日（金）18:30～20:30

場所：ダイワロイネットホテル和歌山 4階 「ボールルームグラン」

参加費：8,000円（当日受付はありません）

9 参加申し込みおよび会費納入方法

(1) 参加は、後述の専用サイトに必要事項を記入しウェブ申し込みしてください。ファックスでの申し込みはございません。大会参加のみ、当日受付もしています。

(2) 事前申し込みは、**7月23日（水）～9月24日（水）**の期間にお願いします。

(3) 申し込み後、ウェブサイトに予約内容が反映されますのでご確認ください。

(4) 費用明細につきましてはウェブサイトで確認の上、**9月26日（金）まで**に、クレジットカード支払いもしくは指定口座へのお振込みをお願いいたします。（手数料は参加者負担となりますので、ご了承ください）

- (5) 「大会参加券」「宿泊利用券」「懇親会参加券」等はお申込みウェブサイトのマイページよりご自身で印刷をお願いいたします。旅行者（東武トップツアーズ株式会社）からの発送はございません。
- (6) 旅行者の宿泊斡旋を希望されない方も、参加申し込みおよび大会参加費、紀要代金等は当ウェブサイトでの登録・振り込みが必要です。
- (7) 申し込みウェブサイト（「全英連和歌山大会」）で検索することもできます  
<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/englishwakayama2025/>

## 10 宿 泊

大会前日11月13日（木）～第1日14日（金）まで大会参加者にホテル（1泊朝食付）を斡旋します。上記ウェブサイトでお申し込みください。

## 11 「第75回全英連和歌山大会紀要」予約受付

「大会紀要（1,500円送料込）」をご希望の場合は、上記ウェブサイトでお申し込みください。大会当日の受付でも申し込みが可能です。「紀要」がお手元に届くのは、令和8年3月頃となります。なお、DVDの販売は予定しておりません。

## 12 著作権・肖像権・知的財産権について

本大会の記念講演、授業実演発表、授業動画発表、分科会発表において、講演者・発表者が提供するすべての知的財産（講演内容、発表内容、論文データ等）権、及び肖像権、その他の一切の権利は、全英連及び講演者・発表者に帰属します。

## 13 会場へのアクセス

第1日 全体会 和歌山県民文化会館 大ホール 〒640-8269 和歌山市小松原通1丁目1 TEL 073-436-1331

○南海電鉄「和歌山市駅」より、徒歩 約20分、タクシー 約5分、バス 約10分（2番のりば）

「県庁前」バス停下車（バス停より約300m・徒歩約4分）

○JR「和歌山駅」より、徒歩 約35分、タクシー 約10分、バス 約10分（2番のりば）

「県庁前」バス停下車（バス停より約300m・徒歩約4分）

第2日 分科会 和歌山県立向陽中学校・高等学校 〒640-8323 和歌山市太田127 TEL 073-471-0621

○JR「和歌山駅」東口より、徒歩 約17分、タクシー 約5分、バス 約10分（東口5番のりば 90系統【秋月経由】紀伊風土記の丘ゆき）「向陽高校前」バス停下車（徒歩約1分）、わかやま電鉄「日前宮駅」下車（駅より約240m・徒歩約3分）

## 14 連絡先

### (1) 【大会参加についてのお問い合わせ】

東武トップツアーズ株式会社 和歌山支店

（第75回全英連和歌山大会担当 川口、竹村、鈴木）

〒640-8331 和歌山市美園町3丁目32-1 損保ジャパン和歌山ビル6階

TEL 050-9001-6309 mail [20251114\\_wakayama@tobutoptours.co.jp](mailto:20251114_wakayama@tobutoptours.co.jp)

### (2) 【大会についてのお問い合わせ】

〈大会全般〉

全英連和歌山大会実行委員会 事務局

宇野 健二 特任教員

TEL 073-457-7245 mail [uno2231@wakayama-u.ac.jp](mailto:uno2231@wakayama-u.ac.jp)

〈近畿公立中学校英語教育研究会連絡協議会関連〉

全英連和歌山大会実行委員会 副委員長

清水 美晴 橋本市立隅田中学校 校長

TEL 0736-32-0729 mail [sujhch@hashimoto.ed.jp](mailto:sujhch@hashimoto.ed.jp)